



複合施設で問題になりやすい！ 建物内の縦ノリ振動対策

増える複合施設と振動問題



様々な用途の施設が集まる弊害

住居、オフィス、飲食店、ホテル、クリニック、スポーツ施設、スタジオ、ホールなど
様々な施設が集約する複合施設やテナントビルが増えています。

まったく異なる用途の施設が近接することがあるため、大きな振動や音を発生する施設の上下や隣接では、居住環境（振動や音）が問題になることがあります。

大きな振動を発生する振動源



多人数運動が行われる施設

- イベントホールやスタジオでのライブ
- ダンススタジオ
- スポーツジム（スタジオレッスン）など

多人数がリズムに合わせて体を動かしたり、飛び跳ねたりする施設では大きな振動が発生しやすく、特に問題になりやすいです。

縦ノリ(たてのり)振動とは？

縦ノリとは

垂直に体を動かしたくなるノリを表現した言葉であり、具体例を挙げると、音楽を演奏する時や聴く時に頭を縦に振る、ヘッドバンキング、立っている場で縦に飛び跳ねるなどの態様で感受するノリを指します。

ライブやダンス、音楽に合わせて行うエクササイズなどで多人数が縦ノリを行うと大きな振動が発生します。これを縦ノリ振動と呼びます。

縦ノリが生じる経緯

曲のテンポが2Hzより早くなると、観客などが左右にステップを踏む動作から、縦ノリに移行することが知られています。

また、この時の加振振動数がおよそ2～3Hzになることがわかっています。

続きが気になる方は 会員登録(無料)をお願いいたします。

資料はヤクモ会員登録後(無料)に
マイページよりダウンロードいただけます。
この他にも様々な資料がございますので、
ぜひこの機会にご登録下さい！

会員登録はこちら

